

飯島賢二の『恐縮ですが・・・一言コラム』

第 38 回 号外！ 新井清氏の意見～イラク人質事件に関して

ひょっとしたら、今、かつての日本にありえなかった、色々な事件や意見が、突然のように巻き起こる…。純粹培養的に生活してきた日本人は、非日常的突発事件に戸惑い、嘆き、また怒り狂っているかのように見える。どう判断し、どう対処したら良いのか、前例主義をモットーとした日本人的思考からは、正に混乱の渦中と言っていいかもしれない。

今回の「イラクにおける日本民間人人質事件」も、その不幸な例である。

そんな中、小生の古くからの友人の「新井清」氏から、以下のようなメールが届いた。異常な事件ゆえ、人色々、右も左も種々な意見があるだろうが、現時点での彼の、ギリギリの意見である。本人の了解のもと、そのまま全文を、「号外」として掲載する。ご意見、ご批判のある方、新井氏に伝えるゆえ、小生までお願いする次第である。

平成 16 年 4 月 12 日 飯島 賢二

以上

ご意見、ご批判は以下のアドレスへお願いいたします。

飯島 賢二メールアドレス ikgboss@ik-g.jp

新井 清氏メールアドレス arakiyo2000@yahoo.co.jp

自由の履き違い

「サラヤ・アル・ムジャヒディーン」が何者達なのか知りませんが、今週末は、新聞、TV、インターネットを見ていて、久々に怒りが納まらなくなりました。

「この親にして、この子あり」と何時になく愕然とした思いで、この国の行く末を案ぜずにはいられなくなりました。一体全体、この国の国民は何時からこんなに墮落してしまったのでしょうか？

4月11日(日)午後3時、「自由を履き違えた非常識な日本人の親兄弟」が引き起こしたイラクの人質事件発生から三日目が過ぎ、犯人側が予告したデッドラインが無為に経過しました。TVマスコミではこの時間も安否を気遣う「家族7人の悲痛な」表情を映しだしています。

・・冗談じゃありません！！・・馬鹿を言われては困ります！！・・公共電波を使って「自分だけ良ければ」と言わんばかりに、全世界に向かって我が国の無知無能を曝け出されては困ると言うものではありませんか？

原点に遡って、イラク戦争の是非を問うには、今の日本人はその資格は持ち合わせていないと思います。しかし、今回の人質事件と自衛隊撤退問題とはあまりに次元が違いすぎると思えてなりません。

そもそも「人道復興支援だけ」なのに、「確実な武装」をし、尚且つ「外国軍隊に警護され」そこまでして「自衛隊」が派遣されている「戦渦のイラク」に、個人の名声(カメラマン)や自己満足(NGO女性)や自分勝手(NPOフリータ)のためだけに、独立主権国家である日本政府の退避勧告を無視してまで、無謀な独断で行ったのだからその結果に対しての責任は、すべて「自己責任であるべき」だと思います。

ひょっとして、(本人たちはそのつもりだった)かも知れませんが、子育てや家族としての育み方を間違え、我が子に「自由の履き違い」を刷り込んでしまった悪しき両親たちの、政府や外務省の姿勢を問う発言や、外務大臣、総理大臣への面会の要求に至っては、その馬鹿さ加減に、正直言ってムカッ腹が立ってなりません。決してあんな場面が「正答論」として、世の中に、世界に公開放送されてはならないのです。

- ・日本は、高アメリカ依存の貿易立国であり、否応なく安全保障上も「同盟国」です。
- ・自衛隊は「民主主義日本」の国論を二分する論議の末に派遣されたのです。
- ・米英軍の戦後処理に参加しているのは、世界の20カ国以上の国々です。
- ・自衛隊は、武力闘争ではなく、人道復興支援をしています。
- ・現地部族長や各宗派聖職者、一般民間人達の一部もその目的と行動を理解しています。
- ・今回のようなことは当然(政府の)予測範囲であり、犠牲の覚悟は大前提です。
- ・早期に、自衛隊を撤退させないと「断言」したことは、日本の「信頼」補完です。
- ・仮に、テロに屈すれば、日本は腰抜けとして様々な国際舞台で「のけ者」になります。

人命は決して軽んじられてはいけませんし、我が子の命乞いとして藁にも縋りたい親心も当然です。が、その前に我が子の「してかした事」結果としての我が子の「犯罪」に、先ず政府や国民に謝罪する気持ちが無いのならば、彼らはこれからの日本国に不必要な輩と言わざるを得ません。

以上、纏まりませんが思いのままにしましたためました。